

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科 1 年	単 位	4 単位
科目コード		科目名	帽子 a I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 板野 景子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

布帛帽子についての基礎知識を学び、デザインとパターンの基礎技法を習得する。

【授業計画】

帽子パターンメイキング I	303610	前期、後期	1 単位
帽子デザイン a I	303710	前期、後期	1 単位
帽子制作実技 a I	303910	前期、後期	2 単位

1	帽子の基礎知識	— 講義	2 コマ
2	ベレー	— デザイン・パターン・制作実技	14 コマ
3	クロッシュー	— デザイン・パターン・制作実技	15 コマ
4	キャスケット・ハンチング（ポリ芯を使ったブリムのある帽子の制作）	— デザイン・パターン・制作実技	26 コマ

※ 3、4、5 は基本となるパターンの作図、縫製練習を行い、その後、個人のオリジナル作品の制作を行う。

* テーマごとに パターンメイキング、デザイン、制作実技と連動

【評価方法】 学業評価 70%・授業姿勢 30%

主要教材図書	ファッション工芸講座① 帽子
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

帽子各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法などの一般知識をふまえ、基礎作図やパターンの展開方法、仮縫いの仕方や縫製方法などの布帛帽子における基本的な知識や技術を習得させる。

担当教員は、ファッション工芸専門課程帽子・ジュエリーデザイン科卒業後、教員となる。

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科1年	単 位	7単位
科目コード		科目名	帽子bI	授業期間	通年

担当教員(代表)：板野 景子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

帽子の専門材料の特徴を理解し、木型を使用した制作方法を習得する。また、素材の特徴に合ったデザイン発想や装飾方法、トータルコーディネート決め手としての帽子のデザインを考える力を身につける。

【授業計画】

帽子デザインbI	303810	前期、後期	2単位
帽子制作実技bIA	303917	前期	3単位
帽子制作実技bIB	303918	後期	2単位

1	帽子の基礎知識（帽子専門の材料・道具について）	— 講義	2コマ
2	手縫い練習（ブレードの手縫い練習）	— 制作実技	3コマ
3	ブレードを使った帽子	— デザイン・制作実技	22コマ
4	夏物帽体を使った帽子	— デザイン・制作実技	13コマ
5	フェルト帽体を使った帽子	— デザイン・制作実技	10コマ
6	バザー作品（市場調査をもとにフェルト帽体を使った作品制作）	— デザイン・制作実技	10コマ
7	カクテルハット基礎練習	— デザイン・制作実技	13コマ
8	修了作品（自身でテーマを決めたオリジナル作品）	— デザイン・制作実技	30コマ

* テーマごとに デザイン、制作実技と連動

【評価方法】 学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書	ファッション工芸講座① 帽子
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

帽子各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法などの一般知識をふまえ、帽子専門の材料や道具を使用し、基本的な制作方法を習得する。また、洋服とのバランスを考えた帽子のデザインを考える力を身につける。

担当教員は、ファッション工芸専門課程帽子・ジュエリーデザイン科卒業後、教員となる。

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科1年	単 位	1単位
科目コード	300100	科目名	アートフラワー	授業期間	前期

担当教員(代表)：板野 景子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アートフラワーの基本的な知識と技術を実習により習得。専門分野に於いて活用できるレベルを目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|--|------|-----|
| 1. 基礎知識・・・専用の道具・材料について | — 講義 | 1コマ |
| 2. カーネーションのコサージュ・・・布への糊入れの方法、こて当ての仕方 | — 制作 | 4コマ |
| 3. アネモネのコサージュ・・・裏打ちの仕方、綿玉の作り方、ペップの使い方、小花の作り方 | — 制作 | 5コマ |
| 4. 革のカメリア・・・皮革を使用した花の作り方・スチロール玉の花芯 | — 制作 | 4コマ |

【評価方法】

学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書 特になし

参考図書

その他資料 各課題ごとにプリントを配布

授業の特徴と担当教員紹介

帽子の装飾やアクセサリーとして活用できるようなアートフラワーの基本的なテクニックを身に着けることを目指す。

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 帽子デザイン科1年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アクセサリー	授業期間	(後期)

担当教員(代表):筋野 久之	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
・ジュエリー・アクセサリー商品の基礎知識の習得。
・アクセサリー制作における各種素材の扱いと基礎的技法の習得。
・アクセサリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。

【授業計画】
1. オリエンテーション ・カリキュラム内容についてジュエリーの商品知識・・・1コマ ・講義、実習
2. ワックス(鋳造)による作品 ・ワックスによるワックス原型の製作・・・3×2コマ (オリエンテーション含む) ・講義、実習
3. 切り回しによる作品 ・各金属素材の特性や扱い方・・・3×2コマ ・講義、実習
4. 金属の研磨 ・ワックスからの地金の研磨の方法・・・2×2コマ ・講義、実習
5. すり出しリング ・銀の加工方法バーナーの使用・・・4×2コマ ・講義、実習
6. 樹脂・プラスチックのアクセサリー樹脂 ・プラスチック・アクリル板の扱い方・・・3×2コマ ・講義、実習

【評価方法】
S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし
参考図書
その他資料
授業の特徴と担当教員紹介 文化服装学院工芸科卒業後、シルバー、ジュエリー加工職人として勤務。その後、伊勢丹新宿店リペア・リフォームジュエリーの加工を担当する。2011年株式会社 Suzy を立ち上げ、ジュエリーリフォーム、デザイン、ブライダルジュエリー、ジュエリー教室等の会社の代表取締役となる。様々な経験から、職人、現在のジュエリー業界、経営に関する知識やスキルが豊富で、即戦力となれる人材育成に力を入れている。

記載者氏名 筋野 久之

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科1年	単 位	2単位
科目コード	科目名 素材論	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅野めぐみ

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせることを目標とし、アパレル（衣服）の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材（テキスタイルファブリック）を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2コマ
 - 1－1 各自着用しているアパレル製品の品質表示を通して、繊維組成や取扱い方法などを認識させる
 - 1－2 テキスタイルファブリック作成により布素材の種類や特徴をおおまかに認識させる
2. 繊維
 - 2－1 繊維の分類（講義、実験）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3コマ
 - (1) 繊維の形状、性能、混用による分類および名称、用語について
 - (2) 繊維の鑑別法・鑑別法（顕微鏡法、呈色法）について
 - 2－2 天然繊維（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8コマ
 - (1) 綿 (2) 麻 (3) 毛 (4) 絹
 - ・各繊維の種類、構造と成分、性質、加工などについて
 - 各繊維の代表的な織物の種類と特徴について（糸、織物組織、加工など）
 - 2－3 化学繊維（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4コマ
 - (1) 再生繊維 (2) 半合成繊維 (3) 合成繊維
 - ・各繊維の種類、性質、加工などについて
3. 糸（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3コマ
 - (1) 紡績糸、フィラメント糸について (2) 糸の撚り構成、撚りの強弱について
 - (3) 糸の太さの表示 (4) ファンシーヤーン、加工糸などの種類
4. 布地（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6コマ
 - (1) 織物・各繊維素材の代表的な織物の種類と特徴について（糸、織物組織、加工含）
 - (2) 編物・構造、特徴、種類など主に織物との違いについて
5. 総論（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ

【評価方法】

S～C・F評価（学業評価80% 授業姿勢20%）

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブッカーアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地について素材への理解に取り組ませる授業です。
文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	950000	科目名	自由研究 I	授業期間	通 年

担当教員(代表)： 菊池 明子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各課題や個人の自由実習。
通常授業以外の制作や、コンテスト参加、美術館見学などによる、各個人のレベルアップ。

【授業計画】

- ◆ 各種コンテスト参加
革コン、ザッカコンペティション、学内コンテスト、その他関連コンテスト
- ◆ 美術館、博物館見学
見学、感想レポート提出
- ◆ 就職活動準備
希望職種に合わせた就職活動準備をする
デザイン画、作品制作、ポートフォリオなど
- b
- ◆ 個人のテーマによる作品制作やブランド研究

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】通常授業以外の制作や活動。

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科1年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 服飾造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：
----------------	--------

概要

服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。

衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッション衣料としてのテキスタイルに関連させ指導する。

衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツの基礎知識・縫製

前期1単位

(前期) 14コマ

・服飾造形の基礎 1コマ

服飾造形概説

採寸

文化式婦人原型

シルエット撮影

・シャツ 25コマ

・一般知識

・基礎縫い(ミシン・ロックミシン講習)

・作品制作

・レポート提出

・プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

評価基準：S.A.B.C.F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績(授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価)など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」を中心とした資料

参考図書

その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介

・アパレルに特化した衣服製作 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GFI	科 名 帽子アサイン科 1年	単 位	2 単位
科目コード	科目名ハンディクラフト	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :	共同担当者 :
------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックをまとめ、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

【授業計画】

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習（4.5）
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得（2）
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習（2.5）
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習（2）
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習（1.5）
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習（0.5）
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作（1）

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習（1.5）
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習（1.5）
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習（1.5）
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習（1.5）
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習（1.5）
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習（1.5）
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習（2.5）
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメレース ひもを手で結び模様を表現するテクニックの実習 （2.5）

*一年間の技法を1冊のファイルにまとめる

- ・技法のまとめ（1）

【評価方法】

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1 科名 帽子デザイン科1年
科目コード 200600 科目名 染色演習

単 位	1単位
授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）： 板橋 美紗子

共同担当者：増田 美砂希

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。

さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|--|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論
・授業内容について
・主な染料の種類と特徴
・染料と繊維の染色適合性
・染料と繊維の結合と染着過程 | (1コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛(羊毛)染色
・羊毛の性質
・酸性染料の特徴
・羊毛の酸性染料による浸染法 | (1コマ) | (実習) |
| 3. 羊毛を使用したフェルト制作
・羊毛の縮絨性
・羊毛のフェルト制作方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 4. 型紙捺染
・型紙捺染の仕組み
・捺染の種類と版式
・顔料樹脂染料の特徴と染料との比較
・特殊プリント加工
・図案構成と型紙制作
・印捺と仕上げ方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 5. スクリーンプリント
・スクリーンプリントの仕組み
・量産プリントの版式と生産工程
・図案構成と製版
・印捺と仕上げ方法
・スクリーンプリントと型紙捺染の比較 | (4コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

S～C・F評価（学業評価 70%、授業姿勢 30%）

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を主体に、その他加工法も含め実習する
担当教員紹介 板橋 美紗子：明星大学日本文化学部生活芸術学科テキスタイル専攻卒業 文化服装学院非常勤講師
増田 美砂希：文化服装学院卒業。文化服装学院勤務、助手

記載者氏名 板橋 美紗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科 1 年	単 位 1
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間 前期

担当教員(代表)：三枝みさお	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。</p> <p>色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎について学び、ファッション工芸の現場で生かすことを目標とする。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p>	
<p>1. オリエンテーション (1コマ)〈講義〉</p>	
<p>2. 色彩の体系 (3コマ)〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の分類方法 色の三属性とトーン 	<p>[プリント演習] [カラーチャート作成]</p>
<p>3. 色彩の識別 (2コマ)〈講義・演習〉</p>	<p>[課題作成：色相別コラージュ] [プリント演習]</p>
<p>4. 色彩の心理 (2コマ)〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の三属性による感情効果 色彩のイメージ 	<p>[プリント演習] [プリント演習] または課題作成</p>
<p>5. 色彩の技術 (6コマ)〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 色相を基準にした配色 同一色相 類似色相 中差色相 対照色相 補色 トーンを基準にした配色 同一トーン 類似トーン 対照トーン 流行配色 トーン・オン・トーン トーン・イン・トーン フォ・カマイユ トーナル カラーコーディネーションの提案 色彩構成 シンメトリー アシンメトリー レピテーション グラデーション アクセント セパレーション 	<p>[プリント演習] [プリント演習] [プリント演習] [課題作成：カラーコーディネーション] [プリント演習]</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>『ファッション色彩Ⅰ』(文化出版局)</p>
<p>参考図書 特になし</p>
<p>その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く 担当教員：文化服装学院専任教授</p>

<p>記載者書名欄 三枝みさお</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1, GG1, GH1, GI1	科 名	帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科、シューズデザイン科 1年	単 位	2単位
科目コード		科目名	造形演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：西村 碧	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
ファッション工芸の各分野における専門性とは別に、すべての造形行為に通底する基礎的な能力を身につけ、デザインを行う上で必要となる想像力や思考力、基本的な造形力の習得を図ります。

【授業計画】授業では、さまざまなテーマ設定に沿って、「平面から立体へ」と向かう造形思考を、年間を通じて身につけていきます。各課題のテーマについて前提講義を行うとともに、制作実習と講評においては、個別的に指導・評価を行い、学生自身がみずからの手と眼で学び、思考する力を引き出します。造形全般に役立つ基礎を身につけ、専門各分野に応用できる柔軟性と造形感覚を育むことを目指します。

テーマ	方法	コマ数
形態の動きと空間性の表現	平面構成における、幾何学的形態や抽象的形態のコンポジションと配色計画を実習を通して学ぶ。「動き」と「空間性」をテーマに、イメージを構想し具現化するための基礎的な技術と思考力を養う。	5
偶然性から見出す空間：形・色・イメージ	ドリッピング等の偶発的描画手法から生まれる有機的形態を抽出し、折る、重ねる等の方法により本の形態に綴じることで、形と空間を発見し展開する力を磨く。ページの穴開けや切り抜きなど複数の技法を組み合わせ、層状に折り重なる形・色・イメージの展開を模索する。	5
平面から立体への展開	平面から立体への展開の糸口として、ケント紙を用いた半立体的な造形物（レリーフ）を制作する。折る、重ねる、編む、曲げるなどの基本的な加工により多様な形態やテクスチャを生み出し、立体物がもつ空間性を把握する能力を培う。	5
表層のデザイン：素材の質感と構造的性	布、革、金属その他の素材の一つを選び、これらに種々の基本的な加工を施し、レリーフ状の作品を制作する。前課題で習得した形と空間の造形に、それぞれの素材の特質を活かした加工と構成を加えることで、質感と構造が織りなす表面（サーフェス）への意識を高める。	5
光との働きと表現	光の働きと、それが造形物に与える作用を理解するための構造物を制作する。光を多面的に捉え、物体との関係性を理解することで、光を表現に取り込む思考を身につける。	4
身体になじむ形	一年を通じて取り組んだ「平面から立体へ」の展開を軸に、マッス（塊）による造形を試みる。「手になじむこと」を基準に、パルサ角材を彫刻することで有機的な立体物を造形し、立体物と身体、光、空間との関係性を探求する。	5

【評価方法】【評価方法】
S～C・F 評価
評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%
制作実習における成果物を主たる評価基準とする。基礎造形の理解度と表現力を評価の基準としたうえで、思考の柔軟性と今後の展開可能性が感じられるものを高く評価する。制作実習時の姿勢ならびに出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
参考図書	『Visual design（平面・色彩・立体構成）1』（改訂新版）日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
その他資料	特になし

授業の特徴と担当教員紹介
制作実習中はコミュニケーションを緊密にとり、造形に取り組む基本的姿勢の習得と柔軟な思考力を養うことを目指します。

記載者氏名 西村 碧

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科1年	単 位	2単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	通年

担当教員(代表)：柳澤 利光	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを見る側に伝える為の基本描写能力と、創造力の元となる視点・気付きの習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を主に学ぶ。

【授業計画】

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な、幾何形体について学ぶ。
- 2、構造線の理解と描写①：先に力の流れ・形の方向性・構造線を学ぶ。
- 3、構造線の理解と描写②：その後、構造線とアウトラインによる立体描写。
- 4、小物のデッサン①（観察画）：ものの本質を捉える。
- 5、小物のデッサン②：ものの立体構造をメインに捉える。
- 6、帽子のデッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 7、帽子のデッサン②：
- 8、靴のデッサン①：靴（基本造形）の理解。
- 9、靴のデッサン②
- 10、自然物のデッサン（観察画）：ものの本質を捉える。
- 11、静物デッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 12、静物デッサン②
- 13、紙ヒコーキのデッサン：造形・質感・空間描写の習得。
- 14、バッグのデッサン①：バッグ（基本造形）の理解。
- 15、バッグのデッサン②
- 16、マネキン頭部のデッサン①（観察画）：ものの本質を捉える。
- 17、マネキン頭部のデッサン②：ものの立体構造をメインに捉える。
- 18、金属物のデッサン：立体造形と金属の質感描写力の習得。
- 19、チョーク画：明暗による立体把握。
- 20、花のデッサン：立体造形と生命感を捉える。
- 21、石膏トルソのデッサン①：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 22、石膏トルソのデッサン②
- 23、石膏トルソのデッサン③
- 24、硝子のデッサン（観察画）：ものの本質・構造・質感を捉える。
- 25、鳥剥製のデッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 26、鳥剥製のデッサン②
- 27、鳥剥製のデッサン③
- 28、静物デッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 29、静物デッサン②
- 30、静物デッサン③

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名 柳澤 利光

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科1年	単 位	2単位
科目コード 501210	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：玉川あかね

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 基礎的なドローイングテクニック、アクリルガッシュを使用した彩色テクニックの習得を目標に指導。
 また、ファッショングッズをデザイン提案するためのデザイン画として、ファッショングッズ単体だけでなく衣服との着
 装、コーディネートを含めた表現力を育成。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・立体と構造／立体の面の捉え方、光と陰影について (0.5コマ)

II・人体のプロポーション／8頭身(正面・側面)の描き方、顔、手の描き方 (0.5コマ)

III・ヌードポーズ／身体の動き、流れを理解する(支脚・遊脚の関係の理解) (2コマ)
 ＊ベーシックポーズ(正面、斜め) ＊手・足・顔の描き方

IV・着装表現の基礎／着装表現のプロセスを学ぶ(ヌードポーズ→服のフォルム→構造、デザイン)(1コマ)
 ＊ベーシックドレス

V・アウトライン／ドローイング線の描き方を練習 (グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆)(1コマ)
 下絵から画用紙へのトレース方法

VI・ファッショングッズの描き方(基礎)／シューズ、帽子、バッグ、コスチュームジュエリーの描き方 (3コマ)
 アクリルガッシュの彩色技法(厚塗り、グラデーション)

VII・ファッショングッズの描き方(応用)／アクセサリを身に着けた表現 (3コマ)

VIII・ファッショングッズと着装表現／衣服とグッズの全身トータルコーディネート (4コマ)

IX・造形練習／ダーツ、タック、プリーツ、ギャザー、フレア、ドレープなどの表現 (3コマ)

X・素材表現／各種画材を使用したドローイング、彩色技法 (4コマ)
 ＊薄地素材、厚地素材
 ＊レザー、ファー、フェザー、
 ＊透け感、光沢感など

XI・コンテスト／学内コンテスト服飾工芸部門に応募 (1コマ)

XII・修了制作／創作デザインと表現力の強化 (5コマ)
 ＊校内ファッション画展にむけての作品制作

評価方法・対象・比重

授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする

S～C・F 評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座⑤ ファッションデザイン画

参考図書

その他資料 参考資料プリント

記載者氏名 玉川あかね

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)：飯塚 有葉	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 Photoshop の基本操作を習得し、画像の切り抜き・合成ができるようになる。Illustrator 初心者を対象に、ソフトの基本操作を習得し、ペンツールの描画方法、連続柄の作成方法、回転・反転ツール等の操作を身につける。

【授業計画】 1. Photoshop の基本操作：講義・実習 4 コマ ①移動ツールの使い方 ②ブラシツールの使い方 ③レイヤーの使用法 ④選択範囲とブラシツール 2. 画像合成・T シャツグラフィックの作成：講義・実習 3 コマ ①レイヤーマスクの使い方 ②画像合成 ③T シャツグラフィック作成 3. デザイン画への着彩方法：講義・実習 5 コマ ①下絵の修正 ②選択範囲の作成方法 ③色調補正によるカラーバリエーション 4. Illustrator の基本操作：講義・実習 1 コマ ①基本操作とメニュー ②色の設定方法 ③基本図形の描画方法 5. ペンツールの描画方法：講義・実習 講義・実習 4 コマ ①直線 ②曲線 ③直線と曲線 ④オープンパスとクローズパス 6. 写真のトレース方法：講義・実習 3 コマ ①写真のスキニング ②写真の配置 ③トレース 7. 回転・反転ツールの使い方：講義・実習 2 コマ ①回転ツールの使い方 ②反転ツールの使い方 ③左右対称図形の描き方 8. 連続柄作成方法：講義・実習 4 コマ ①スウォッチの作成方法 ②ストライプ ③水玉 ④スカーフデザイン
--

【評価方法】 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際に PC を操作しながらグラフィックのソフトの使用法を身につける授業です。担当教員は、テキスタイルへのデジタルプリントデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広い PC スキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	(後期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (1 コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2 コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3 コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950 年ー1970 年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980 年ー現代
3. 現代のファッションキーワード～未来型ファッションビジネス思考

IV. ファッション産業の構造 (3 コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

V. ファッションビジネスの実務 (3 コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

VI. 計数知識 (1 コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

※すべて講義

【評価方法】

試験 50% テキスト提出 30% 出席 20%

主要教材図書

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書、WWDなど

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住 倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1・GF1・GG1・GH1・GI1 科目コード	科 名 グッズ4科 科目名 デザインプランニング演習	単 位 授業期間	1 単位 (後期)
-----------------------------------	-------------------------------	-------------	----------------

担当教員(代表)： 佐藤功人	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>デザインに至るまでのプロセス・テーマの掘り下げ・コンセプトの固め方 企業・フリーランスデザイナーが行っている作業を実践すると共にプレゼンテーション能力を身につける。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>昨年まではジュエリー科のみの講義で外部企業を招きコラボレーションを行うまでになりました。 今期は4科が合併して初の講義ですので それぞれの科の特性を活かした企画からプレゼンテーションが出来るよう努めたいと思います。</p> <p>タイミングが合えばそれぞれの科に向けた産学共同プログラムに繋げる事が出来れば良いと思っています。</p> <p>通り一辺倒な講義は潮流を見失う事にも繋がる恐れがあるため、初回から3回目(計3コマ)の講義の中で、本年度の生徒の個性を掴み柔軟な講義を進めたいと思っています。</p>
--

<p>【評価方法】</p> <p>実践型で創る⇒伝える(プレゼンテーション)を実施。総合的に判断しコメントによる評価する。</p>

主要教材図書	
参考図書	なし
その他資料	講師が外部委託業務で行ってきた資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>普段からファッションに対しての感受力を上げる。自己実現に向けた0➡1企画に対して柔軟な脳を機能させる。</p> <p>教員プロフィール</p> <p>COMME des GARCONS・NICE CLAUP・beige shop/RYUICHIROSHIMAZAKI アパレル3社を経て独立、PB【norihito sato】を中心に外部業務委託デザイナーを請負う。</p> <p>メンズ/レディースアパレルブランド・MIZUNO/DESCENTE等スポーツブランド・ユニフォーム業界と幅広く精通。様々な販売形態にも対応 百貨店アパレル・GMS・SPA・通販カタログ・TVショッピング等。</p> <p>2018年3月に公表された 陸上自衛隊 常装制服改正や企業ユニフォーム等に携わる。</p> <p>2019年OHRAI(プライベートブランド)商標登録</p> <p>デザイナー業+マーチャндаイジングのキャリアを活かしプロダクトアウトの為のマーケットイン発想と共に絵を載せるに相応しい『魂』宿る商品開発に従事。様々な企業間コラボレーションを実施。</p>

記載者氏名	佐藤功人
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ジュエリー・バッグ・シューズデザイン科 1 学年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	キャリア開発	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：杉本直鴻	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 ・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方 (企業の採用スケジュールとは、就職活動の進め方)	講義	1
2. 言葉遣い (正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話)	講義・実習	1
3. 電話のマナー・Eメールのマナー	講義・実習	1
4. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1
5. 自己分析① <学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析② <性格・長所>	講義・実習	1
7. 履歴書・エントリーシート①	講義・実習	1
8. 履歴書・エントリーシート②	講義・実習	1
9. 面接・個人・オンライン (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
10. 面接・集団・オンライン (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
11. グループディスカッション①	講義・実習	1
12. グループディスカッション②	講義・実習	1
13. 作品プレゼンテーション	講義・実習	1
14. 内定から入社まで (内定の意味、誓約書、承諾書、労働法規の理解、その他)	講義	1

【評価方法】 出欠席、受講態度、実習 (面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度
--

主要教材図書 「就職対策 第2024年度版」
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 机上の知識だけでなく、将来について(今後の自分自身のキャリア)を実習・実践を交えて学ぶことができる

記載者氏名 杉本直鴻

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科 1年	単 位	1 単位
科目コード	980010	科目名	特別講義 I	授業期間	通 年

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。
専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。
学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。

【授業計画】

・ お金について.....	講義	1 コマ
・ 流行色解説.....	講義	1 コマ
・ ファッショングッズ業界とは（業界の仕組みと業種、その仕事について）.....	講義	1 コマ
・ 日本の生活文化（風呂敷）について.....	講義・実習	1 コマ
・ ポートフォリオ制作①（就職活動に向けた作品集の作り方）.....	講義・実習	1 コマ
・ ポートフォリオ制作②（カメラワーク）.....	講義・実習	1 コマ
・ ポートフォリオ制作③（PCによる制作実習）.....	講義・実習	1 コマ
・ ポートフォリオ制作④（プレゼン、講評）.....	講義・実習	2 コマ
・ デザイナーの仕事について.....	講義	1 コマ
・ 皮革について（皮革の種類や革が出来上がるまで）.....	講義	2 コマ
・ 服装解剖学.....	講義	2 コマ
・ ニットの基礎知識.....	講義	1 コマ

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1	科 名	帽子デザイン科 1年	単 位	1 単位
科目コード	945010	科目名	インターンシップ I（自由選択）	授業期間	通年（自由選択）

担当教員（代表）： 菊池 明子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○研修先、期間

帽子、及びファッション小物の業界の企業

1 週間～2 週間（受け入れ先企業により異なる）

○研修内容

実務作業補助（デザイン、製作、営業、生産管理など）

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】 履修認定：P 表示 評価基準：学業姿勢、出欠、研修報告書

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：帽子、及びファッション小物業界の様々な職種の就業体験

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	8 単位
科目コード		科目名	帽子 aⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表)：板野 景子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

布帛を中心とした素材別の縫製方法を理解し、デザインと素材に合ったテクニックを研究し完成度の高い作品制作を目指す。
立体的裁断を学ぶことにより平面パターンの理解を深め、パターンを応用展開できる力を養う。

【授業計画】

帽子パターンメイキングⅡ	303600	・ ・ ・ ・ ・ 2 単位
帽子デザイン aⅡ	303720	・ ・ ・ ・ ・ 1 単位
帽子制作実技 aⅡ	303900	・ ・ ・ ・ ・ 5 単位

- 基礎縫製の復習
講義・演習 7 コマ
- 立体的裁断・タイトフィッティング
(丸クラウン・丸角クラウンを使用)
講義・演習 20 コマ
- 素材別縫製方法
(カットソー・ビニール・合成皮革・ベルベット・他)
講義・演習 4 コマ
- 立体的裁断・応用作品
(タック・ギャザーなど、分量のとり方)
講義・演習・作品制作 25 コマ
- コラボレーション帽子制作
作品制作 30 コマ
- 卒業制作
(帽子を中心にトータルコーディネートも意識して企画制作を行う)
講義・演習・作品制作 30 コマ
* 卒業研究・創作、帽子bⅡと連動

【評価方法】 学業評価 70%・授業姿勢 30%

主要教材図書	ファッション工芸講座① 帽子
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

1 年次の学習内容をふまえ、布帛の帽子に関するパターン展開と、デザインに合った素材の扱い方と縫製方法を身に付ける。
担当教員は、ファッション工芸専門課程帽子・ジュエリーデザイン科卒業後、教員となる。

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	8 単位
科目コード		科目名	帽子 b II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 板野 景子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインに合ったフォルムと、頭の形に合った元型の制作方法を習得する。
素材の用い方について創意工夫し、作品制作における表現方法の幅を広げるとともに、デザイン力の向上を図る。

【授業計画】

帽子デザイン b II	303820・.....1 単位
帽子制作実技 b II A	303927・.....2 単位
帽子制作実技 b II B	303928・.....5 単位

1. チップ(元型) の制作 講義・チップ制作 35 コマ
(アレンジバクラムを使用した元型の制作。フォルムの出し方と元型にするための補強方法、アイロンのかけ方)
2. チップ使用の帽子(夏物帽体とフェルト帽体) 講義・作品制作 24 コマ
(チップへの型入れ方法・夏物帽体とフェルト帽体の 2 種類の作品制作)
3. イメージ作品(ホースヘアブレードを使用) 講義・演習・作品制作 33 コマ
(材料を活かした表現方法の研究と、その技法を用いたデザイン)
4. 卒業制作 講義・演習・作品制作 20 コマ
(帽子を中心にトータルコーディネートも意識して企画制作を行う)
* 卒業研究・創作、帽子 a II と連動

【評価方法】 学業評価 70%・授業姿勢 30%

主要教材図書	ファッション工芸講座① 帽子
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

帽子の元型となるチップ制作を学ぶ。ホースヘアブレードなど扱いが難しい素材での作品制作も行い、表現の幅を広げる。
担当教員は、ファッション工芸専門課程帽子・ジュエリーデザイン科卒業後、教員となる。

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF2	科 名 帽子デザイン科2年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 帽子商品論概論	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 板野 景子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

帽子の商品としての知識を深め、業界や生産の仕組みを理解する。
企業デザイナーとして、ファッショントレンドや、地域性、価格帯別による違いなどから、商品提案できることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 帽子業界の仕組みについて 講義 1コマ
- ブランド調査 (S・S) 講義・リサーチ・実習・プレゼンテーション 2コマ
帽子専門会社におけるブランドの展開 (オリジナル/ライセンス/卸の別)
- 地域別市場調査 (S・S) 講義・リサーチ・実習・プレゼンテーション 2コマ
気になった街の周辺でのショッピングや、商品展開の傾向を調査
- アパレルブランドにおける展開と帽子メーカーとの関わり
アパレル企業(クロスプラス)とのコラボレーション・ブランドに合わせた帽子の商品提案
講義・リサーチ・プレゼンテーション・実習 9コマ

【評価方法】 S～C・F評価

学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

実際の市場を把握して企業デザイナーとして必要な知識を身に付けます

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF2, GG2, GH2, GI2 科目コード	科 名 帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、 バッグデザイン科、シューズデザイン科 2年 科目名 造形デザイン	単 位	1 単位
		授業期間	(前期)

担当教員(代表)：西村 碧	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
ファッション工芸の各専門分野に活かすことのできる、立体造形能力のさらなる向上を図り、デザインの思考と展開の方法の拡張を目指します。造形行為によりみずからの構想を形にし、モノと空間性への理解を深めることで、各専門分野に通底する総合的な造形感覚の習得を目指します。

【授業計画】授業は立体造形の制作が中心になります。実習では、制作に関わる方法論や造形面の助言を行いながら、造形ならびに空間性を理解する能力の拡張と、柔軟な思考力の習得を図ります。また、造形物そのものの評価とは別に、各自のプレゼンテーション・講評等を通じ、作品の意図を論理的に思考し、説明する能力を身につけることを目指します。

テーマ	方法	コマ数
線・面の構造を用いた空間表現	「モノ」、「空間」を構成する基本要素である、線・面の概念を用い、角材を素材とした立体構成を行う。立体的な思考力と造形力、空間把握の能力を身につける。	5
変容する素材による立体造形	軽金属の素材特性を活かした加工と構成を検討し、内的・外的空間性を包含した立体物を構成する。空間および立体を形成する諸要素の関係を把握し、表現に活かす能力を育む。	5
実空間への展開	身体的スケールに基づき、段ボールを用いて何らかの機能を果たす立体物を造形する。立体物が持つ構造性とモノが空間にもたらす効果、「場」の意識への理解を深める。	5

【評価方法】【評価方法】
S～C・F 評価
評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%
制作実習における成果物を主たる評価基準とする。基礎造形の理解度と表現力を評価の基準としたうえで、思考の柔軟性と今後の展開可能性が感じられるものを高く評価する。制作実習時の姿勢ならびに出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
参考図書	『Visual design (平面・色彩・立体構成) 1』(改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
その他資料	特になし

授業の特徴と担当教員紹介
制作実習中はコミュニケーションを緊密にとり、造形に取り組む基本的姿勢の習得と柔軟な思考力を養うことを目指します。

記載者氏名 西村 碧

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF2	科 名 帽子デザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 ファッショングッズデザイン画 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインワークのうえで即戦力として使えるファッショングッズデザイン画の習得と個々の創作デザインの強化、就職活用できるポートフォリオ一端の課題作成、及び企画構成ができるスキルの強化

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

【頭部と帽子の表現の捉え方】 …(2コマ)

- 頭部の立体を捉える基本の角度や方向の演習
- クラウンとブリムとのかかわり、基本形の表現について

【形とディテール】 …(3コマ)

- 副資材の表現(ファスナー・バックル・釦等)、帽子のハギ構成の布製ハット表現、夏物帽体やブレード等の重なり表現の凹凸ディテールを立体的に、コサージュ・リボン等を用いて着帽デザイン彩色表現

【フォルム研究】 …(4コマ)

- 様々な角度からリサーチした資料より、インスピレーションアイデアをスケッチし、着装デザイン彩色画及びバリエーションへとまとめる

【着装コーディネイトデザイン】 …(4コマ)

- 装飾テクニックを用い、トータルな着装コーディネイトをファッショングッズとともに表現

【発想デザイン】 …(2コマ)

- 色彩とイメージの表現の発想デザイン、ヘッドデザインを彩色画

【創作デザイン】 …(7コマ)

- YKK ファスニングアワード応募 ●革デザインコンテスト応募 ●Hat & Head-piece Competition 応募
- 学内ファッションデザインコンテスト 工芸部門応募 ●台東ザッカデザイン応募

【オリジナルバリエーションデザイン】 …(5コマ)

【中間・期末デザイン画試験】 …(2コマ)

【評価方法】 [S～C・F評価]

評価基準：学業評価80%(課題作品提出物と試験)、授業姿勢20%(出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書

参考図書：文化ファッション大系「ファッション工芸講座帽子」文化出版局

その他資料：ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…F・グッズデザインのアイデアとテクニックをオリジナルデザインにしていける。リサーチ資料等のインスピレーションから個々の特性あるデザインや企画構成を磨く。

[担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後専任講師にて勤務。その後ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着色ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】 1. ポートフォリオ修正 (Illustrator) : 講義・実習 4 コマ ①整列機能の使い方 ②文字ツール ③ポートフォリオのブラッシュアップ 2. ペンツールの使い方 (Illustrator) : 講義・実習 4 コマ ①直線の描き方 ②曲線の描き方 ③線の修正 3. デザインバリエーションの作成 (Illustrator) : 講義・実習 4 コマ ①ライブペイントの使い方 ②トレース ③デザインバリエーションの作成 4. デザイン画の着色方法 (Photoshop) : 講義・実習 4 コマ ①ブラシツールでの着色 ②素材写真の貼り付け ③陰影のつけ方 ④連続柄のいれ方 5. エクセルの基本 1 コマ ①表の作成 ②オートフィル ③計算式の使い方 6. プレゼンテーション : 講義・実習 4 コマ ①パワーポイントの使い方 ②アニメーションの使用方法 ③発表原稿の作成 ④プレゼンテーション 7. Photoshop の動画編集 : 講義・実習 2 コマ ①動画のカット、移動、サイズ変更 ②文字や写真の追加方法 ③レンダリング 8. モノグラムデザイン (Illustrator) : 実習 4 コマ ①水玉・ストライプ ②オリジナルスウォッチの作成

【評価方法】 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024/Microsoft Excel2019/Power Point2019

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際に PC を操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルテキスタイルデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広い PC スキルを身に付けられる授業を目指しています。
--

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションマーケティング、マーチャンダイジングへの理解を深める。
ブランド開発をもとに戦略立案から商品企画、プレゼンテーションまで行う事でその知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションマーケティング入門 (1 コマ) . . . 講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1 コマ) . . . 講義

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類と活用について

III. ファッション企業研究 (5 コマ) . . . 講義・演習

- ①ファッション企業の今後を考える
- ②店舗調査を行い現状を把握する
- ③SWOT 分析を行い差別化のための戦略を考える

IV. 新ブランド開発 (7 コマ) . . . 講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について
- ②ブランド設定の方法
 - ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント
- ③市場細分化とターゲット分析
 - ・企業運営における市場細分化の意味
 - ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化
- ④プレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションの方法について

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・各種業界新聞など

その他資料 図書館・リソースセンター作品、映像など

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年・ファッション工芸各科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	西洋服装史	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 原田 弘美	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服の起源を始めとし、古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。過去の衣服と現代ファッションとの関連性にも着目しながら学び、得た知識をあらゆるデザイン分野に活かせることを目標とします。

【授業計画】

講義授業 / スライド(Microsoft Office PowerPoint)、映像資料(DVD)使用

1. 服飾の起源 (1コマ) 授業概要、衣服の起源、服飾博物館展覧会解説
2. 古代の服飾 (1コマ) 古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾
3. 中世の服飾 (1コマ) ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾
※博物館見学レポート提出
4. 近世の服飾 (2コマ) ルネサンス、バロック、ロココの服飾
5. 近代の服飾 (2コマ) 第一帝政、王政復古、第二帝政、第三共和制時代の服飾
アール・ヌーボーの服飾
6. 現代の服飾[1] (4コマ) 20 世紀初頭、アール・デコの服飾
1930 年代～1950 年代のファッション
7. 現代の服飾[2] (2コマ) オートクチュールからプレタポルテへ
1960 年代～2000 年代のファッション
まとめ

【評価方法】

S～C・F 評価 学業評価・・・85% 授業姿勢・・・15% ※左記を目安に総合的に評価します

主要教材図書

「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 ⑪ 改訂版・西洋服装史」

参考図書 項目により紹介します

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：実物資料や、画像、映像資料などを盛り込み、幅広く西洋服飾の歴史を学ぶ授業。

教員紹介：1994 年より文化服装学院非常勤講師。他に「染織文化論Ⅱ」を担当。

記載者氏名 原田弘美

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション工芸各科	単 位	単位
科目コード	科目名 現代ファッション論	授業期間	前期 単位

担当教員(代表)：関谷麻美

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現代において国際的に流通している“ラグジュアリーブランド”は、流行を牽引するだけでなく、全世代の強い憧れの的でもある。それらには長い歴史があり、時代の流れを読みながら発展してきたブランドがほとんどだ。さらに 21 世紀に向けて環境問題と向き合い、“サステナブルファッション”を提案するブランドも数多い。この講座では著名なラグジュアリーブランドの成り立ちと現在の動向、そして未来への展望を掘り下げる。

内容	方法	コマ
「イントロダクション」現代のラグジュアリーブランドとは？ + 全 14 回の講義の流れ	講義	1
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり①＝シャネル」	講義	2
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり②＝ディオール、サンローラン」	講義	3
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり③エルメスとルイ・ヴィトン」	講義	4
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ①」	講義	5
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ②」	講義	6
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転①」	講義	7
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転②」	講義	8
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転③」	講義	9
「イギリス・ロンドン＝バーバリーからヴィヴィアン W、ステラ M の地球に優しいファッションまで」	講義	10
「現代ファッションにおいて最も重要なキーワード＝“サステナブル”について」	講義	11
「日本・東京＝欧米経由で国際的になった日本ブランド 1970 年から現代まで」	講義	12
「アメリカ・NY＝ブルックス・ブラザーズからラルフ ローレン、マーク J、マイケル K まで」	講義	13
「パリ・ヴァンドーム広場のハイジュエラー」	講義	14

【評価方法】

出席率・遅刻率、授業への積極的な参加（挙手、質疑応答など）、課題の提出・内容から総合的に判断する。

主要教材図書 毎回の講義にはパワーポイントによる資料をモニターで提示。

参考図書 講義で取り上げたブランドの公式ホームページ。

その他資料 wwdjapan.com

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション誌編集者・ジャーナリストとして、常に最先端のラグジュアリーブランドに触れている経験を生かし、スピーディに変化してゆくブランドの動向を的確に捉え、解説する。また、現代とこれからのファッション業界で外せないキーワード「サステナブル」についても、随時、触れながら、時間のあるかぎり詳細を伝えていくように心がける

記載者氏名 関谷麻美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	レザーグッズ a	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レザーグッズであるバッグの制作を通して、レザーの知識と縫製技術を習得する。
基本となる型紙の取り方、縫製準備、縫製を曲げまちのトートバッグで演習し、その後、通しまち、横まち、小判底のいずれかのまちを用いた、縫い返し仕様のオリジナルデザインのバッグを制作することで、応用力を養う。

【授業計画】

- | | |
|---|----------|
| ○バッグの基礎知識 | 講義 1 コマ |
| ○曲げまちのトートバッグ（基礎縫い） | 演習 6 コマ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 型紙 ・ 裁断 ・ 革漉き ・ 縫製準備 ・ 縫製 | |
| ○オリジナルデザインのバッグ | 実習 21 コマ |
| 条件 : 横まち、通しまち、小判底のいずれかを用いる
縫い返し仕様 <ul style="list-style-type: none"> ・ デザイン ・ 型出し ・ 型紙 ・ 裁断 ・ 革漉き ・ 縫製準備 ・ 縫製 | |

【評価方法】 S～C・F 評価

作品評価 70% : 授業姿勢 30%

主要教材図書	文化ファッション体系 ファッション工芸講座③ バッグ
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

バッグ制作を通して、レザーの基礎知識、縫製技術を習得し、オリジナルデザインをすることで応用発展する能力を養う。

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	300302	科目名	レザーグッズ b	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 板野 景子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション小物を総合的に企画デザインするために、各種皮革素材の特性と制作技法についての知識を習得する。
ラムレザーを用いた手袋の制作方法を学び、デザインの発想の幅を広げる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | |
|--|---------------|
| 1. ソフトタイプの皮革について | 講義・・・・・・・・1コマ |
| 2. 手袋の一般知識と制作(ラムレザーを使用) | 講義・実習・・・13コマ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・名称、手袋の歴史、用途別種類、皮革の種類 ・材料とデザイン、手入れの方法 ・手の計測・パターンの制作 ・縫製方法 | |

【評価方法】

学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書

参考図書 ・「福島令子の手袋」(株)用美社・「私の手袋博物館」暮らしの手帳社・「SOEN EYE・アクセサリー」文化出版局

その他資料 DVD「手袋」のできるまで「ベルト」のできるまで 一般社団法人日本皮革産業連合会

授業の特徴と担当教員紹介

洋装の正装には帽子と手袋は欠かせません。ラムレザーを使用しての手袋の縫製技術はもちろん、他のアイテムにも活用できるように教授し、学生の志向と全体のバランスを考慮して一人一人に適した指導を行います。

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	300200	科目名	ニットグッズ	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 板野 景子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ニットの帽子や小物をデザインするために必要な知識を身に付け、商品のデザイン提案ができることを目標とする。
また、ハンドニット（かぎ針編みや棒針編み）の編み方の実習を通し、クリエイションの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. ニットの基礎知識 | 講義・・・・・・・・1コマ |
| 2. かぎ針編み基礎（鎖編み・細編み・中長編み・長編み・長々編み） | 講義・演習・・・2コマ |
| 3. かぎ針編み応用（円形編み・モチーフ編み） | 講義・演習・・・2コマ |
| 4. 棒針編み基礎（作り目・表編み・裏編み・伏せ止め） | 講義・演習・・・2コマ |
| 5. 棒針編み応用（模様編み・網目の増減） | 講義・演習・・・2コマ |
| 6. 作品制作（帽子の制作） | 講義・実習・・・5コマ |

【評価方法】

学業評価70％・授業姿勢30％

主要教材図書	文化ファッション大系・ニットの基礎技術 文化ファッション大系・手芸
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

手編みの基礎を学び、帽子デザイナーに必要な知識を身に付ける

記載者氏名 板野 景子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2年		1 単位
	GG2		ジュエリーデザイン科 2年	授業期間	前期
	GH2		バッグデザイン科 2年		
	GI2		シューズデザイン科 2年		
科目コード		科目名	英会話		

担当教員(代表)： 原田千尋	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>基礎的な文法の確認、英語圏の文化に根ざした会話力の強化、ファッション関連の語彙や表現の習得を図りながら、発話を通して英語運用力の向上を目指す。</p> <p>将来、英語を駆使してファッション業界でグローバルに活躍するための基礎固めをする授業。</p>

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
テーマ	方法	コマ数
英会話を学ぶ意義 : 授業概要説明	講義・演習	1
英語で「現在」を語る : 現在形 ・ 聞き返し方 ・ ファッションアイテム	講義・演習	1
英語で「過去」を語る : 過去形 ・ 質問の仕方と答え方 ・ 色、柄	講義・演習	1
英語で「経験」を語る : 現在完了形 ・ 体調の答え方 ・ 素材、生地	講義・演習	1
英語で「未来」を語る : 未来の表し方 ・ ショッピングの会話	講義・演習	1
英語で「好きなこと」を語る : 動名詞 ・ 同意を表す言い方 ・ ファッションスタイル	講義・演習	1
英語で「得意なこと」を語る : 助動詞 ・ 数字の言い方 ・ 体顔各部の名称	講義・演習	1
英語で人助けをする : 前置詞、接続詞・道案内の言い方 ・ 工程、用具	講義・演習	1
英語で自分をアピールする : 比較級、最上級・英語の就職面接	講義・演習	1
映画で学ぶ英会話	講義・演習	1
映画で学ぶ英会話	講義・演習	1
自分の作品についてのプレゼンテーション 準備	講義・演習	1
自分の作品についてのプレゼンテーション 発表	講義・演習	1

<p>【評価方法】</p> <p>S`C・F 評価</p> <p>評価基準：学業評価（小テスト得点、課題・プレゼンテーション評価）50%、 授業姿勢（出席率、授業内活動参加状況）50%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>オリジナル教材（担当教員作成プリント「今日の授業 1. 覚えておきたい英文法 2. 便利な会話表現」）</p>
<p>参考図書</p> <p>Essential English for Fashion Students Bunka Fashion College、「Fashion x English おしゃれ英語図鑑」DHC、 English Phrases for Fashion Students Bunka Fashion College</p>
<p>その他資料</p> <p>「ラジオ英会話」「ラジオビジネス英語」NHK 出版、「好感を持たれる英語表現」クロスメディア・ランゲージ、 「SAKURACO's こなれ英語 LESSON」ベレ出版、「世界一わかりやすい英会話の授業」KADOKAWA、 Forward Mode:English for Fashion Students 南雲堂、DVD The Intern Warner Bros. Entertainment Inc.</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>学生同士の会話やプレゼンテーションなどの実践により英語運用力の向上を目指す楽しい授業。 担当講師はムーミンの原作者と文通経験のあるムーミンの大ファン。英語教授法修士課程修了、1987 年から英語教育に携わり、2014 年から文化服装学院で非常勤講師として英会話を担当。</p>

記載者氏名 原田千尋

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	980020	科目名	特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：菊池 明子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般のトレンド情報、またグッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事、特殊技法やその活用方法などを学び、多方面にわたる講師による講義や実習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◆ 金属アレルギーについて・・・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：鈴木 久子
◆ 流行色・トレンド解説・・・・・・・・・・	講義	2コマ	講師：小木曾 珠希
◆ 皮革のメンテナンス・・・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：静 孝一郎
◆ 横山氏のブランド立ち上げから、今・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：横山 英也
◆ issey miyake の世界・・・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：宮前 義之
◆ FUMIE=TANAKA のクリエイション・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：田中 文江
◆ コンピュータニットについて・・・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：土井 健太郎
◆ 繊維・化成品について・・・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：トップラン株式会社
◆ 商品の品質管理・・・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：未定
◆ グッズデザイナーの仕事について・・・・・・・・	講義	1コマ	講師：未定
◆ パールジュエリーについて・・・・・・・・・・	講義	2コマ	講師：森永 のり子

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	930020	科目名	校外研修	授業期間	前期

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各アイテム及び副資材を扱う産地の企業・工場見学を通してより専門的な知識を得るとともに、就職を見据えたより深い理解の修得をはかる。 また、集団行動による協調性やコミュニケーション力を養う。

※ファッションテキスタイル科、バッグデザイン科、ジュエリーデザイン科、シューズデザイン科と合同

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○2泊3日 広島・岡山方面

○企業、工場見学

- ・ 繊維製造企業 : カイハラ産業(株)
- ・ 帽子製造企業 : (株)藤井製帽
- ・ ビーズ工場 : トーホー(株)
- ・ シューズメーカー : (株)ニチマン
- ・ バッグアトリエ : Dove&olive Shop (バッグデザイン科のみ見学)

○レポート提出

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

専門アイテム及び副資材を扱う企業・工場の見学を通して、専門知識の修得をはかる。また、集団行動により協調性やコミュニケーション力を養う。

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2年	単 位	1 単位
科目コード	945020	科目名	インターンシップⅡ（自由選択）	授業期間	通年（自由選択）

担当教員（代表）： 菊池 明子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

就業体験を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、希望する業種、職種と合致しているかを確認し、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

○研修先、期間

帽子、及びファッション小物業界の企業

1週間～2週間（受け入れ先企業により異なる）

○研修内容

実務作業補助（デザイン、製作、営業、生産管理など）

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】 履修認定：P表示 評価基準：出欠、研修報告書

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：帽子、及びファッション小物業界の様々な職種の就業体験

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2年	単 位	4単位
科目コード	970000	科目名	卒業研究・創作	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：板野 景子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

卒業作品として、各自が研究テーマを設定し、様々な制作技法を駆使して2年間のまとめに相応しいオリジナル作品をデザイン、制作する。
また、展示発表を通して、企画、運営方法とチームワークを学ぶとともに、作品をより良く見せることの重要性も学ぶ。

【授業計画】

○帽子を中心にトータルコーディネートも意識して企画制作を行う。

作品は2点以上。……講義、リサーチ、実習

* 帽子 aⅡ、帽子bⅡと連動

○展示会の企画・運営

(ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科、シューズデザイン科、合同展示) …グループ活動

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

各自の研究テーマに基づき、デザインし制作・展示を行う。
担当教員は、ファッション工芸専門課程帽子・ジュエリーデザイン科卒業後、教員となる。

記載者氏名 板野 景子